

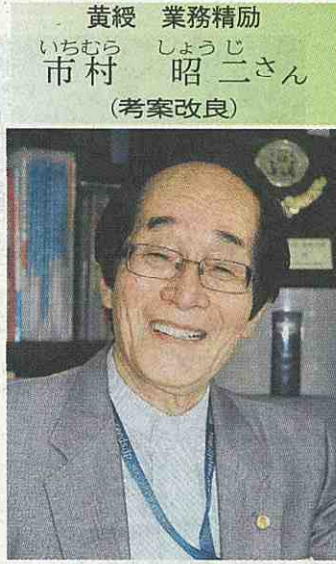
「受章に身が引き締まる思い」と語

優良物件提供に尽力



黄綬 業務精励
とらかつ さん
岩田 虎勝 (宅地建物取引業)

現在の、県宅地建物取引業協会の副会長。公益法人として、献血や骨髓バンクへのドナー登録など社会貢献活動にも力を入れる。昨今は投機目的ではなく実需要による取引が中心。「だからこそ、本当に必要な人に優良な物件を提供したい。人さまの大切な財産を扱っているという自覚がすべての基本」と強調した。



黄綬 業務精励
しろうじ さん
いむら 昭二 (考案改良)

喜び生む研究に誇り

半導体材料の研究が専門分野。富山大学工学部教授などを経て、中学時代の先輩だった故小池久雄ヤマハ発動機元社長に「大学での研究を世の中に還元しなさい」と勧められ、起業を決

めた。「人に喜びを与えられる事に研究者として誇りを感じる」と業績を振り返る。自身が開発した触媒を「研究開発、生産技術、営業の三つの力があつてこそ、発明は世の中で花開く。メーカーや営業担当者と共に栄誉をいただいた」と受賞を受け止めた。「地域の子供たちにも夢を与えられるれば」と笑顔を見せる。

小学一年生のころから瓦ぶき工になると決めていた。十九歳で祖父、父と続いた瓦屋の三代目。「瓦を本業として続けてこれたのが私の喜び」。

経営者として努力、コストのダウンを考える中で職人として耐久性、軽量化に優れた工法を編み出す結果となった。平成十八年、厚生労働省の現代



黄綬 業務精励
おさむ さん
なかの 修 (考案改良)

特殊紙の研究開発に専念すること四十三年。劣化を抑制する保存用紙を考案した。「受章は光栄。紙資料の保存に努めてきた先人や同僚のおかげです」と謙虚に語る。

約二十五年前、図書館などが収蔵する酸性紙の書籍や資料が劣化で消滅する恐れが表面化。特殊紙の視点から危機を乗り越えようと、公的機関と連携し対策を講じた。後世に残すべき資料を

劣化防ぐ特殊紙考案

劣化から守る中性紙、歴史的価値がある資料を安全に収納できる封筒や保存箱、さらには保存環境自体を改善する調湿紙、汚染ガス除去紙などを相次いで開発し、社会に提案した。平成十五年に文科大臣賞を受けた。「紙の可能性はまだある」と研究意欲は衰え知らず。「保存用紙を普及させ、科学的かつ安価な保存方法を確立したい」と熱っぽく語る。



黄綬 業務精励
かわばたしろうじ さん
川端 祥治郎 (塗装工事業)

「まだ実感がわきませんが、業界の先輩諸兄に感謝したい」と受章の感想を率直に語る。

応、廃棄物削減に率先して取り組んでいる。塗装工事は化学物質を扱っただけに、「材料の飛

喜びの県内受章者

平成20年春の褒章受章者が28日付で発表された。県内受章者は17人。業に精励した人に贈られる黄綬褒章は10人、公共の利益に貢献した人に与えられる藍綬褒章は7人だった。褒章受章者が喜びを語った。(4月29日付発令)

—全国の主な受章者は26面—

春の褒章

◇…黄綬褒章…◇

- 青野 光男 (68) アオノ会長—三島市南二日町
- 市村 昭二 (80) ファイラックインターナショナル社長—磐田市福田
- 岩田 虎勝 (64) 大阪屋不動産代表取締役—三島市

- 前田 俊夫 (77) 前田書店代表者—藤枝市
- 山崎 真 (73) 富士急スペースプランニング—掛川市本所
- 和田 正美 (63) 農業—浜松市北区三ヶ日



黄綬 業務精励
まさし さん
前田 真 (自動車運送業)

これは新...